



座標平面上に2つの直線  $l: y = 2x + 4$ ,  $m: y = -2x + 12$  がある. 2直線  $l, m$  の交点を  $A$  とし, 直線  $m$  と  $x$  軸の交点を  $B$  とする. 線分  $AB$  を直径とする円を  $K$  とし, 直線  $l$  と円  $K$  の共有点で  $A$  でない方を  $C$  とする. また,  $D(2, 0)$  とする.

(1) 点  $A$  の座標は ( ア, イ ) であり, 円  $K$  の中心の座標は ( ウ, エ ), 半径は オ  $\sqrt{\text{カ}}$  である. また, 点  $C$  の座標は  $(-\frac{\text{キ}}{\text{ク}}, \frac{\text{ケコ}}{\text{サ}})$  である.

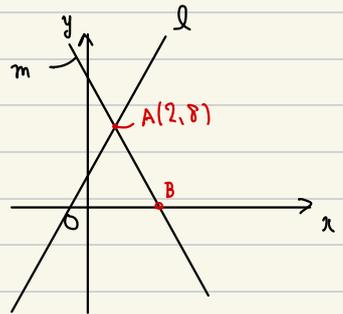
(2)  $\angle ADC = \alpha$ ,  $\angle BCD = \beta$  とするとき,  $\tan \alpha = \frac{\text{シ}}{\text{ス}}$  であり,  $\sin(\alpha - \beta) = \frac{\text{セ}}{\text{タチ}} \sqrt{\text{ソ}}$  である.

(3)  $\alpha$  を定数とし, 円  $K$  の点  $D$  を含む弧  $BC$  と線分  $AB$  および線分  $AC$  で囲まれた領域を  $L$  とする. 点  $(x, y)$  が領域  $L$  を動くとき,  $ax - y$  の最大値  $M$  は,

$$\begin{cases} a < -\frac{\text{ツテ}}{\text{ト}} \text{ のとき,} & M = \frac{\text{ナニ}}{\text{ヌ}} (a + \text{ネ}) \\ -\frac{\text{ツテ}}{\text{ト}} \leq a \leq \frac{\text{ノ}}{\text{ハ}} \text{ のとき,} & M = \text{ヒ} a - \text{フ} + \text{ヘ} \sqrt{\text{ホ}} (a^2 + \text{マ}) \\ \frac{\text{ノ}}{\text{ハ}} \leq a \text{ のとき,} & M = \text{ミ} a \end{cases}$$

である.  
また,  $a$  の値が変化するとき,  $M$  が最小値をとるのは,  $a = \text{ムメ}$  のときである.

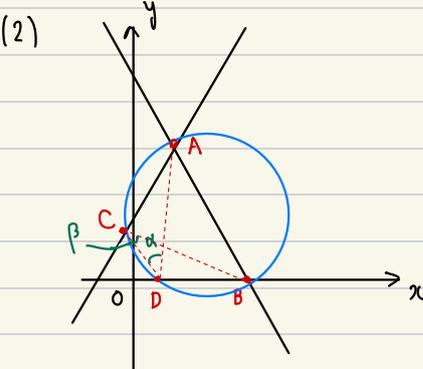
(1)  $\begin{cases} y = 2x + 4 \\ y = -2x + 12 \end{cases}$  をとて  $A(x, y) = (2, 8)$  また  $B(6, 0)$  より,  $K$  の中心は  $AB$  の中点



なので  $(4, 4)$  また半径は  $\frac{1}{2}|\vec{AB}|$  であり,  
 $\vec{AB} = (4, -8) \therefore |\vec{AB}| = \sqrt{16 + 64} = 4\sqrt{5}$   
 $\therefore$  半径  $= \frac{1}{2} \times |\vec{AB}| = 2\sqrt{5}$   
 また以上より  $K$  の方程式は  
 $(x-4)^2 + (y-4)^2 = 20$  ① なので  
 $y = 2x + 4$  ② と合わせて,

$$\begin{cases} (x-4)^2 + (2x-4)^2 = 20 \\ y = 2x + 4 \end{cases} \therefore \begin{cases} 5x^2 - 8x - 4 = 0 \\ y = 2x + 4 \end{cases} \therefore \begin{cases} (x-2)(5x+2) = 0 \\ y = 2x + 4 \end{cases}$$

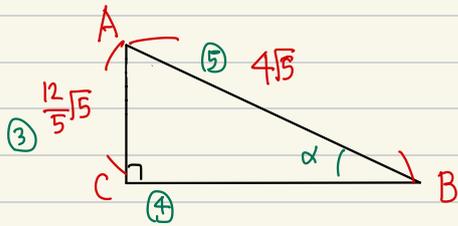
よ)  $x = -\frac{2}{5}$   $y = \frac{16}{5}$  より  $C(-\frac{2}{5}, \frac{16}{5})$



$D(2, 0)$  は ① をみたすので, 円  $K$  上にある.  
 ここで円周角の定理と内接四角形の性質より,  
 $\begin{cases} \angle ADC = \angle ABC = \alpha \\ \angle BCD = \angle BAD = \beta \end{cases}$   
 また  $AB$  直径より  $\angle ACB = \frac{\pi}{2}$  より,  $\triangle ABC$  について考える.

ここで  $AB = 4\sqrt{5}$   $A(2, 8)$   $C(-\frac{2}{5}, \frac{11}{5})$  より  $AC = \sqrt{5} \times \frac{12}{5} = \frac{12}{5}\sqrt{5}$  である (注)

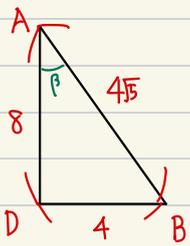
また  $\angle C = \pi/2$ ,  $AB:AC = 5:3$  より左図のようになり、



$$\tan \alpha = \frac{3}{4}$$

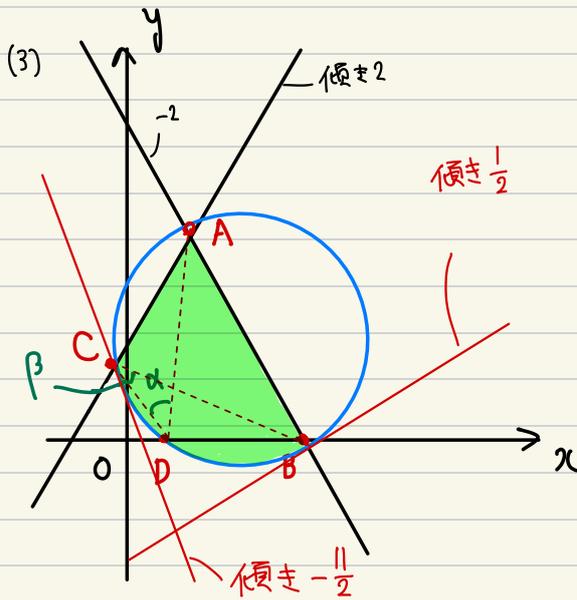
また  $\sin \alpha = \frac{3}{5}$   $\cos \alpha = \frac{4}{5}$  である

また、 $\triangle ABD$  についても考えると、下図より



$$\cos \beta = \frac{8}{4\sqrt{5}} = \frac{2}{\sqrt{5}} \quad \sin \beta = \frac{1}{\sqrt{5}} \text{ である.}$$

$$\text{よって } \sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta = \frac{3}{5} \cdot \frac{2}{\sqrt{5}} - \frac{4}{5} \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} = \frac{2}{5\sqrt{5}} = \frac{2}{25}\sqrt{5}$$



$ax - y = r$  とおくと、 $y = ax - r$  である。

ここで  $B, C$  における接線の傾きはそれぞれ  $\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}$  より、

①  $a < -\frac{1}{2}$  のときはこの直線が  $C$  を通るとき、

$$r \text{ は Max で } r = -\frac{2}{5}a - \frac{16}{5} = -\frac{2}{5}(a+8)$$

②  $-\frac{1}{2} \leq a < \frac{1}{2}$  のときは直線と円弧が接するとき  
 $r_{\text{max}}$  で点と直線の  $\text{キ}$  を考え ← 中心は  $(4, 4)$

$$2\sqrt{5} = \frac{|4a - 4 - r|}{\sqrt{a^2 + 1}}$$

$$4a - 4 - r = \pm 2\sqrt{5(a^2 + 1)}$$

$$r = 4a - 4 \mp 2\sqrt{5(a^2 + 1)}$$

$$\text{よ} \text{ 最大は } \underline{4a - 4 + 2\sqrt{5(a^2 + 1)}}$$

③  $\frac{1}{2} \leq a$  のとき  $r$  が最大となるのは直線が  $B$  を通るときより、

$$r_{\text{max}} = 6a$$

また、 $a$  の値を変化させたとき、

$\frac{1}{2} \leq a$  で  $M$  は増加  
 $-\frac{1}{2} \geq a$  で  $M$  は減少するので、

$M$  の最小は  $-\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{1}{2}$  で実現

この区間で  $M = f(a)$  とすると、

$$f'(a) = 4 + \frac{10a}{\sqrt{5(a^2 + 1)}} = 2 \left( \frac{4 - a^2}{\sqrt{a^2 + 1} (2\sqrt{a^2 + 1} - \sqrt{5}a)} \right)$$

よ、以下の増減表をかけ、 $M$  が最小になるのは  $a = -2$  のとき。

|         |                |      |               |
|---------|----------------|------|---------------|
| $a$     | $-\frac{1}{2}$ | $-2$ | $\frac{1}{2}$ |
| $f'(a)$ | $-$            | $0$  | $+$           |
| $f(a)$  | $\searrow$     |      | $\nearrow$    |

2

$a$  は  $0 < a \leq 1$  を満たす定数とし、関数  $f(x) = \log(x+a)$  がある。

(1)  $a = 1$  とする。  $y = f(x)$  のグラフを  $C_1$  とし、  $C_1$  上の点  $(1, f(1))$  における法線を  $l$  とする。

(i)  $f'(1) = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  であり、法線  $l$  の方程式は、  $y = \text{ウエ}x + \text{オ}$  +  $\log \text{カ}$  である。また、  $C_1$  と  $l$  および  $y$  軸で囲まれた図形の面積は、  $\text{キ} - \log \text{ク}$  である。

(ii)  $p, q$  を定数とし、  $q$  は  $\log 2 < q < \text{オ} + \log \text{カ}$  を満たすとする。  
 $y = p \log(x+1) + q$  のグラフを  $C_2$  とし、  $C_2$  が点  $(1, \log 2)$  を通るとき、  
 $q = (\text{ケ} - p) \log \text{コ}$  である。このとき、  $x \geq 0$  の部分で  $C_2$  と  $l$  および  $y$  軸で囲まれた図形の面積が  $\frac{\log 2 + 1}{2}$  であれば、  $p = \frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$  である。

(2)  $g(a) = \int_0^1 |f(x)| dx$  とする。

$g(a) = (a + \text{セ}) \log(a + \text{ソ}) + a \log a - \text{タ} a + \text{チ}$  である。また、  
 $g'(a) = 0$  の解は、  $a = \frac{\sqrt{\text{ツ}} - \text{テ}}{\text{ト}}$  であり、  $a$  の値が変化するとき、  $g(a)$  の最小値は、

$$\log \frac{\sqrt{\text{チ}} + \text{ニ}}{\text{ヌ}} + \text{ネ} - \sqrt{\text{ノ}}$$

である。

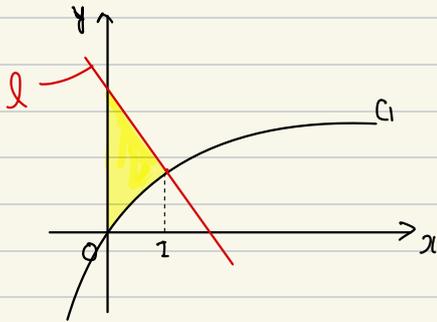
(1)  $f'(x) = \frac{1}{x+a}$  であり、  $a=1$  のとき、  $f'(x) = \frac{1}{x+1}$

$\therefore f'(1) = \frac{1}{1+1} = \frac{1}{2}$

またこの点での法線の方程式は、

$l: y = -\frac{1}{f'(1)}(x-1) + f(1) = -2(x-1) + \log 2 = -2x + 2 + \log 2$

$C_1, l, y$  軸で囲まれた図形の面積は、以下の図を参照して、  $S$  とすると、



$S = \text{①} - \text{②}$

①:  $\int_0^1 (-2x + 2 + \log 2) dx = [(2 + \log 2)x - x^2]_0^1 = 1 + \log 2$

②:  $\int_0^1 \log(x+1) dx = \int_0^1 (x+1)' \log(x+1) dx = [(x+1) \log(x+1) - x]_0^1 = 2 \log 2 - 1$

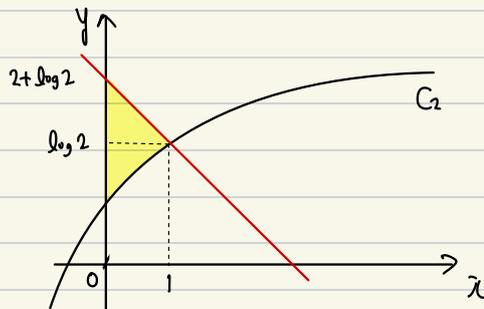
よって  $S = (1 + \log 2) - (2 \log 2 - 1) = 2 - \log 2$

(ii)  $\log 2 < q < 2 + \log 2$  である

$y = p \log(x+1) + q$  が  $(1, \log 2)$  を通るので、代入して、

$\log 2 = p \log 2 + q \quad \therefore q = (1-p) \log 2$

(ii) このとき、 $C_2$  と  $Q_1$ 、 $y$  軸で囲まれた図形は以下のようなになる。左図の面積を  $S'$  とすると。



$$S' = \textcircled{1} - \textcircled{2}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} &= \int_0^1 \{ P \log(x+1) + (1-P) \log 2 \} dx \\ &= [P(x+1) \log(x+1) - Px + (1-P) \log 2 \cdot x]_0^1 \\ &= 2P \log 2 - P + (1-P) \log 2 \\ &= P \log 2 - P + \log 2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{よて } S' &= (1 + \log 2) - (P \log 2 - P + \log 2) \\ &= (1+P) - P \log 2 \end{aligned}$$

$$\text{か } \frac{1}{2}(\log 2 + 1) \text{ となるので } P = -\frac{1}{2} \quad \#$$

$$\begin{aligned} (2) \quad g(a) &= \int_0^1 |\log(x+a)| dx \\ &= \int_0^{-a+1} -\log(x+a) dx + \int_{-a+1}^1 \log(x+a) dx \\ &= [-(x+a) \log(x+a) + x]_0^{-a+1} + [(x+a) \log(x+a) - x]_{-a+1}^1 \\ &= (-a+1) - (-a \log a) + (1+a) \log(1+a) - 1 - (a-1) \\ &= \underline{-2a+1 + a \log a + (a+1) \log(a+1)} \quad \# \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} g'(a) &= -2 + \log a + 1 + \log(a+1) + 1 \\ &= \log a(a+1) \end{aligned}$$

$$\text{よ } g'(a) = 0 \text{ のとき } \log a(a+1) = 0 \quad \therefore a(a+1) = 1 \quad \therefore a^2 + a - 1 = 0 \quad \therefore a = \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$0 < a \leq 1 \text{ よ } a = \frac{1}{2}(\sqrt{5}-1) \quad \#$$

この下で  $g(a)$  について増減表をかくと

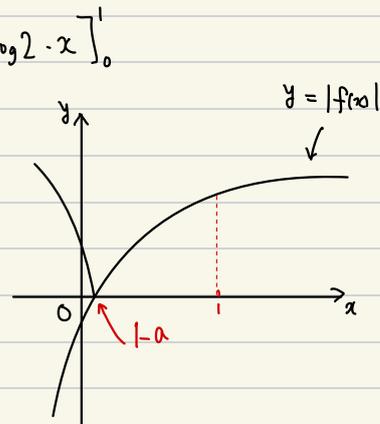
|      |   |                           |   |
|------|---|---------------------------|---|
| $a$  | 0 | $\frac{1}{2}(\sqrt{5}-1)$ | 1 |
| $g'$ | - | 0                         | + |
| $g$  |   | ↓                         | ↑ |

$$a = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} \text{ とき } g'(a) = 0$$

$$g(a) \text{ が最小となるとき } a = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} \text{ よ }.$$

$$g(a) = a \log a(a+1) + \log(a+1) - 2a + 1 = a g'(a) + \log(a+1) - 2a + 1 \text{ よ }.$$

$$g\left(\frac{-1 + \sqrt{5}}{2}\right) = \underline{\log \frac{1 + \sqrt{5}}{2} + 2 - \sqrt{5}} \quad \#$$



$i$  を虚数単位とし、2つの複素数  $\alpha = 2 + 4i$ ,  $\beta = 1 - 3i$  がある。

(1)  $|\alpha| = \boxed{\text{ア}} \sqrt{\boxed{\text{イ}}}$ ,  $\frac{\alpha}{\beta} = \boxed{\text{ウエ}} + i$  であり、 $\frac{\alpha}{\beta}$  を極形式で表すと、 $\frac{\alpha}{\beta} = \sqrt{\boxed{\text{オ}}} \left( \cos \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \pi + i \sin \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \pi \right)$  となる。ただし、 $0 \leq \arg \frac{\alpha}{\beta} < 2\pi$  とする。  
また、 $\left(\frac{\alpha}{\beta}\right)^{20} = \boxed{\text{クケコサシ}}$  である。

(2) 複素数  $z$  は、方程式  $|z - \beta| = \sqrt{2}$  を満たしている。このとき、 $|z - \alpha|$  の最大値は  $\boxed{\text{ス}} \sqrt{\boxed{\text{セ}}}$  であり、そのときの  $z$  は  $\frac{\boxed{\text{ソ}} - \boxed{\text{タチ}}}{\boxed{\text{ツ}}} i$  である。

(3) 複素数平面上で、複素数  $\alpha, \beta$  が表す点をそれぞれ A, B とする。  $\gamma = \frac{\boxed{\text{テ}} - i}{\boxed{\text{トナ}}}$  とするとき、直線 AB 上の点を表す複素数  $z$  は、常に方程式  $\gamma z + \gamma \bar{z} = 1$  を満たす。このとき、 $zw = 10$  を満たす複素数  $w$  が表す点は、点  $\frac{\boxed{\text{ニ}} + i}{\boxed{\text{ヌ}}}$  を中心とし、半径が  $\frac{\boxed{\text{ネ}} \sqrt{\boxed{\text{ノ}}}}{\boxed{\text{ハ}}}$  の円周上にある。また、複素数  $z, w$  が表す点をそれぞれ P, Q とし、P, Q は実軸上にないとする。  $\triangle POQ$  の面積が最大となるとき、直線 AB は  $\triangle POQ$  の面積を  $\boxed{\text{ヒ}} : \boxed{\text{フ}}$  の比に分ける。ただし、O は原点とし、 $\boxed{\text{ヒ}} < \boxed{\text{フ}}$  とする。

(1)  $|\alpha| = \sqrt{2^2 + 4^2} = \sqrt{20} = \underline{2\sqrt{5}}$   
 $\frac{\alpha}{\beta} = \frac{2+4i}{1-3i} = \frac{1}{10} (2+4i)(1+3i) = \frac{1}{10} (2+6i+4i-12)$   
 $= \frac{1}{10} (-10+10i) = -1+i = \sqrt{2} \left( \cos \frac{3\pi}{4} + i \sin \frac{3\pi}{4} \right)$   
 $\left(\frac{\alpha}{\beta}\right)^{20} = \left\{ \sqrt{2} \left( \cos \frac{3\pi}{4} + i \sin \frac{3\pi}{4} \right) \right\}^{20} = 2^{10} \left( \cos 15\pi + i \sin 15\pi \right) = \underline{-1024}$

(2) **図形的に考えると**  $z$  は  $B(1-3i)$  を中心とする半径2の円周をうごく。  $|z-\alpha|$  は円周上の点と  $A(2+4i)$  との距離と **言い換えられるので**、左図の  $z$  が N の点を示すとき最大で  $AB = \sqrt{7^2+1} = 5\sqrt{2}$ ,  $BN = \sqrt{2}$  より、 $|z-\alpha|_{\text{Max}} = AN = \underline{6\sqrt{2}}$   
 また、 $AB = BN = 5$  より、 $\vec{AN} = \frac{6}{5} \vec{AB}$ ,  $\vec{AB} = (-1, -7)$  より、 $\vec{AN} = \left(-\frac{6}{5}, -\frac{42}{5}\right)$  であるので このときの  $z$  は  $z = (2+4i) + \left(-\frac{6}{5} - \frac{42}{5}i\right) = \underline{\frac{4}{5} - \frac{22}{5}i}$

(3)  $r = a + bi$  ( $a, b \in \mathbb{R}$ ) とおく。ここで AB 上の任意の点  $z$  は媒介変数  $t (\in \mathbb{R})$  を用いて、(2)より、 $z = (2+4i) + t(-1-7i) = (2-t) + (4-7t)i$  とできる。  
 このとき  $\gamma z + \gamma \bar{z} = 1$  が常に成り立つので、

$$(a - bi)\{(2-t) + (4-7t)i\} + (a+bi)\{(2-t) - (4-7t)i\} = 1 \quad (*)$$

か 全ての  $t$  で成立するような  $a, b$  を求める。

$$(*) \Leftrightarrow (2-t)a + (4-7t)ai - b(2-t)i + b(4-7t) + a(2-t) - a(4-7t)i + b(2-t)i + b(4-7t) = 1$$

$$\Leftrightarrow 2a(2-t) + 2b(4-7t) = 1$$

$$\Leftrightarrow (-2a - 14b)t + (4a + 8b - 1) = 0$$

$at + b = 0$  が全ての  $t$  で成立するとき、

$$a = b = 0$$

$$\text{よて } \begin{cases} -2a - 14b = 0 \\ 4a + 8b - 1 = 0 \end{cases} \text{ をといて } \begin{cases} a = \frac{7}{20} \\ b = -\frac{1}{20} \end{cases}$$

$$|r| = \frac{1}{20} \sqrt{7^2 + 1} = \frac{5}{20} \sqrt{2} = \frac{\sqrt{2}}{4}$$

$$\text{よて } r = \frac{7-i}{20}$$

また  $w \neq 0$  の下で、 $z = \frac{10}{w}$  であり、 $\bar{r}z + r\bar{z} = 1$  に代入して、

$$\frac{10\bar{r}}{w} + \frac{10r}{\bar{w}} = 1$$

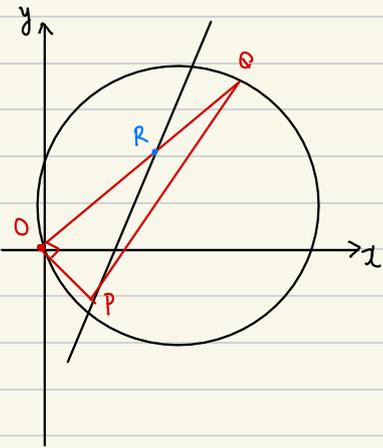
$$\therefore 10\bar{r}\bar{w} + 10rw = w\bar{w}$$

$$\therefore w\bar{w} - 10wr - 10\bar{w}\bar{r} = 0 \quad \text{--- ①}$$

$$\therefore (w - 10\bar{r})(\bar{w} - 10r) = 100|r|^2$$

よて  $w$  は中心  $\frac{7+i}{2}$ 、半径  $\frac{5\sqrt{2}}{2}$  の円上にある。

$$\begin{aligned} |w - 10\bar{r}|^2 &= 100|r|^2 \\ |w - 10\bar{r}| &= 10|r| \\ \therefore \left| w - \frac{7+i}{2} \right| &= 10 \times \frac{\sqrt{2}}{4} = \frac{5\sqrt{2}}{2} \end{aligned}$$



① よ  $w$  は  $O$  を通る。図より

$$\begin{aligned} \Delta OPQ &= \frac{1}{2} |w||z| \sin \phi \\ &= \frac{1}{2} |wz| \sin \phi \\ &= \frac{1}{2} \times 10 \sin \phi = 5 \sin \phi \end{aligned}$$

$$wz = 10$$

よ  $\sin \phi = 1 \therefore \phi = \frac{\pi}{2}$  のときに最大をとる。

こゝで

$$\star \phi = \arg \frac{w}{z} = \arg |w|^2 = 2 \arg w \text{ よ}$$

$$\arg w = \frac{\pi}{4} \text{ で最大となり、}$$

このとき  $OQ$ 、 $y = x$  となる。

また、直線  $AB$  の方程式は  $y = 7x - 10$  なので  $AB$  と  $OQ$  の交点を  $R$  とすると、

$$7x - 10 = x \therefore x = \frac{5}{3} \text{ よ } R\left(\frac{5}{3}, \frac{5}{3}\right) \quad \text{--- ②}$$

また、 $Q$  の座標は円の方程式が  $\left(x - \frac{7}{2}\right)^2 + \left(y - \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{25}{2}$  よ、 $y = x$  とあわせて、

$$\left(x - \frac{7}{2}\right)^2 + \left(x - \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{25}{2}$$

$$\therefore 2x^2 - 8x - 10 = 0 \therefore x(x-4) = 0 \therefore x = 0, 4$$

よて  $Q(4,4)$  --- ③ である。上図より、 $\Delta POR : \Delta PQR = OR : RQ = \frac{5}{3} : \left(4 - \frac{5}{3}\right) = 5 : 7$  #